

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

2月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター

〒861-0593

熊本県山鹿市山鹿511番地

TEL 0968-44-2185(代)

FAX 0968-44-2420

開放型病院運営協議会総会・懇談会で地域医療連携を確認

平成30年度山鹿市民医療センター開放型病院運営協議会総会を、平成30年12月14日(金)、ゆとりろ山鹿で開催したところ、年末のご多用のなか鹿本医師会の先生方をはじめ登録医の先生方、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会の先生方やスタッフ91名の皆様方にご参加いただき盛会に終わりました。



▲開放型病院運営協議会総会でミニ講演を行う幸医師

総会に先立ち、第3回地域医療支援病院運営委員会及び開放型病院運営協議会では、幸村克典協議会会長(鹿本医師会会長)の議事進行により支援病院の活動報告と開放型病院の運営状況報告が行われました。

総会では、豊永政和病院事業管理者が「日頃からの当センターへの運営協力に対してのお礼」を述べた後、当協議会会長の幸村克典先生から「鹿本地域における山鹿市民医療センターの役割や現状、医療機関の相互連携などについて」お言葉をいただきました。

その後の議事では、鹿本医師会理事の前原龍彦先生と豊永院長の進行により、医療連携に係る実績報告について当年度の登録医師数が1名増加したこと、紹介患者数は前年度並みだが、逆紹介患者数が若干減少傾向にあること、ま

た、共同診療(指導)件数や大型医療機器共同利用の状況などについて高木副院長から報告を行いました。

議事終了後のミニ講演では「放射線科紹介」と題して、昨年4月に当センターに就任した幸 秀明医師(放射線科長)が、本年度から画像診断を独自で実施していることや放射線診断のメリット・デメリット、女性放射線技師によるマンモグラフィー撮影ができるようになったことなどの紹介を行いました。

総会終了後は、開放型病院運営協議会総会懇談会に併せて三師会忘年会が開催され、今回は、当センターから出席した医師17名が自己紹介を行うと共に、ご参加いただいた地域の先生方に対して日頃のお礼や今後のご支援とご紹介をお願いしました。また、地域医療連携などに関して日頃お会いする機会の少ない三師会会員相互の意見交換によって親睦が深まり、有意義な懇談ができました。

今後も引き続き地域医療機関の先生方のご支援とご協力をいただき、地域医療支援病院としての役割を果たすべく、連携を密にするとともに地域医療の発展に尽力して参りますので、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(文責：高山)



▲総会懇談会並びに三師会忘年会での医師紹介

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

開放型病院運営協議会総会・懇談会	P 1
登録医のご発言・カンサーボードがより充実しました	P 2
医療最前線(111)	P 3
クリスマスコンサート	P 4
公開講演会・がんサロン・肝炎サロン・	
クリティカルパス研究発表会	P 5
外来担当医表(2月)	P 6

登録医のご発言

七城木村クリニック

院長 木村 文彦 先生

山鹿市民医療センターの皆様には、いつも大変お世話になっております。七城木村クリニックの木村文彦と申します。当院は、私の父が平成16年5月に菊池市七城町林原（七城温泉ドームの近く）に開院して今年で15年目になります。昨年5月に父より院長を引き継ぎ、山鹿・菊池の地域医療に従事させて頂いております。

もともと私は、救命救急センターの救急医として、救急初期診療や集中治療、外傷診療やプレホスピタルケア等に従事しておりましたので、現在180度違う診療スタイルで日々診療を行っています。所柄高齢の患者



七城木村クリニック

さんが多く、慢性期疾患のフォローが主体となっておりますが、そのなかで患者さんとじっくり話をし、そのバックグラウンドまで把握しながら、患者さんに向き合うホームドクターや地域医療というものは、正に「医の原点」であると感じている毎日です。今までは、救急医として病院内でチーム医療を行っていましたが、今後は、地域の住民の方々の健康維持と急病対応の担い手となり、そして山鹿・菊池の各医療機関と連携し、「県北広域のチーム医療」の一員として臨む所存でございます。山鹿市民医療センターの皆様はじめ山鹿・菊池の各医療機関の皆様には、同じチームの仲間として迎えて頂ければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



木村文彦院長とスタッフのみなさん

「がんサージカルボード」がより充実しました

当院は県指定のがん診療連携拠点病院として、鹿本地区のがん診療に積極的に携わっています。さらに、がんに関連した消化器内科、消化器外科、肝臓、胆道、高度腹腔鏡下肝切除の認定施設をこの2年間で取得しました。医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどの多職種のメンバーが、がん患者の症状や治療方針について意見交換を行う「がんサージカルボード」を、平成23年より定期に開催しています。従来より参加している外科、内科、消化器内科、放射線科、産婦人科、緩和ケア内科などの医師やスタッフ、熊本大学外来化学療法センター長の陶山 浩一先生に加えて、昨年12月から熊本大学細胞病理学の菰原義弘准教授と大西 紘二先生が参加されています（写真）。がん患者の診断、治療（手術、内視鏡治療、血管造影下治療、化学療法）、病理診断から終末期医療までの検討が可能となりました。毎月第二水曜日の17時半から、当院研修室で「がんサージカルボード」を開催していますので、興

味のある先生方は是非参加ください。

（文責：副院長 別府 透）



写真 カンサーボードのメンバー

右上枠、左から菰原先生、大西先生です。

医療最前線 (111)



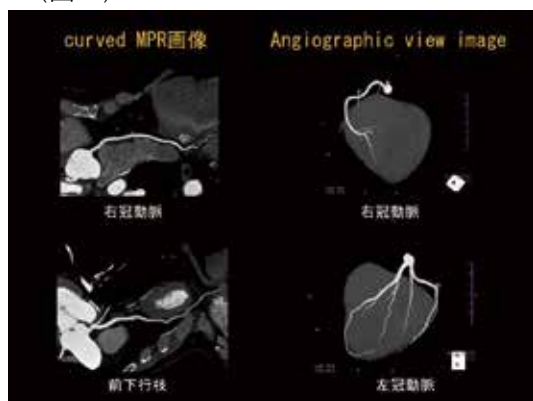
冠動脈 CT における不安定プラークの診断

放射線科

幸 秀明 医師

MDCT (Multi Detector row Computed Tomography) の登場以降、冠動脈CTアンギオグラフィ (CTA) は循環器診療のなかで大きな役割を担うようになってきました。冠動脈CTAは数十分の非侵襲的なCT検査で、冠動脈狭窄の有無を捉えられることができ、患者にとって負担が少ない検査といえます。通常の横断像の他に、血管造影のような画像 (Angiographic view image) や冠動脈の軸に沿った断面の画像 (curved MPR) も作成可能です (図1)。近年、冠動脈CTAの検査数は急速に増加傾向にあります。

(図1)



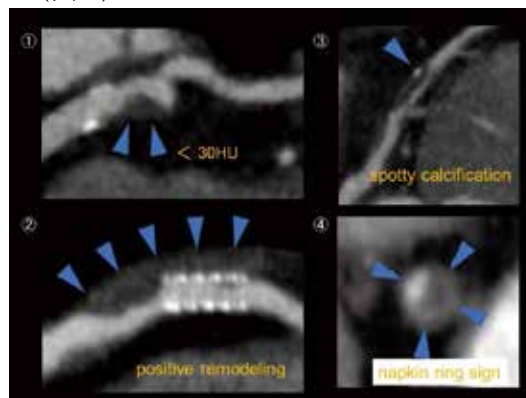
急性冠症候群は冠動脈プラークの破綻、血栓形成を基盤として急性心筋虚血を呈する症候群であり、不安定狭心症や急性心筋梗塞、虚血性心臓性突然死を含む広範な疾患概念です。急性冠症候群を呈する患者は脂肪成分を含む冠動脈プラークを有しており、この破綻が発症の契機となることが多いとされています。そして、このプラークによる狭窄がしばしば50%程度の軽度～中等度狭窄であるため無症状であった患者が急速な心筋虚血に陥ってしまいます。冠動脈CTAは、冠動脈プラークについても性状評価が可能であり、冠動脈狭窄の程度だけでなく、プラークの安定性に関す

る情報も提供することができます。

一般に心筋梗塞を引き起こす危険なプラークとして4つの特徴が知られています (図2)。

- ① 脂肪成分を多く含むこと (Lipid-rich)、プラークのCT値が30HUより低い
- ② 血管壁の外方突出 (positive remodeling)
- ③ 点状の石灰化 (spotty calcification)
- ④ ナプキンリングサイン

(図2)



CTでは脂肪成分のCT値は低くなります。線維性プラーク (安定プラーク) のCT値は100HU前後であり、脂肪成分の混在によりプラークのCT値はこれよりも低くなっていきます。また、血管のリモデリングとはプラークの形成に伴って血管径が大きくなっていき、代償性に血管内腔の径を保とうとする現象です。その他、点状の石灰化とプラークの周囲が増強される所見が不安定プラークと考えられています。このようなプラークを有する患者においてはたとえ狭窄が軽くても、今後の急性冠症候群発症の可能性に留意して厳重に管理する必要があります。



クリスマスコンサートにて癒やされました

毎年恒例行事でありますクリスマスコンサートを、平成30年12月19日、当センター玄関ホールにおいて開催しました。このコンサートは、入院中の患者さまに少しでもクリスマス気分を味わっていただき、楽しいひとときを過ごしていただこうと患者サービス委員会が毎年開催しています。このイベントは患者さまやご家族だけでなく、私たちスタッフも楽しみにしており、当日はたくさんの参観者でにぎわいました。

コンサートは、当センター院内保育所の園長先生やそのご家族を演奏者に迎え、エレクトーンやサクソ、フルートなどの楽器演奏が行われました。クリスマスソングはもちろん、2018年に流行した曲や懐かしい曲など色々な曲を演奏され、参加された方々は手拍子をしたり口ずさんだり、目を閉じてうっとりとして聴き入っている方もおられました。ピアノとは違ったエレクトーンの多彩な音やサクソの柔らかな音色、フルートの優しい音に心が癒やされました。普段、テレビやCD、ラジオなどで音楽を耳にすることはあっても、生の演奏を聴くことは日常生活ではなかなかないので、



フルート演奏の様子

良い機会になったのではないかと思います。

また、演奏以外にも、園長先生による腹話術人形の「ケンちゃん」とのやり取りや歌に合わせての手遊び、当センター新人職員等による、「ヤングマン」や昨年大ヒットしたDAPUMPの「USA」などの曲に合わせた踊りの披露もあり、会場は盛り上がり笑顔でいっぱいになりました。

患者さまは、入院中様々なストレスを抱えていらっしゃいますが、音楽はストレスの軽減に繋がります。イベント終了後、参加された皆さんから「楽しかった」「また聴きたい」など笑顔で話されていたのが印象的でした。今回の演奏が心に響き渡り、きっと多くの患者さまに楽しいひとときを過ごしていただけたのではないかと思います。年1回の行事ではありますが、今後も季節の行事として、患者サービスの向上のために続けていきたいと思っています。

(文責：患者サービス委員会 福島 崇晃)



手遊びの様子

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

ご 案 内

第61回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
8.感染対策 11.予防と保健 71.流・早産および満期産

下記により第61回公開講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市民病院事業管理者 豊永 政和

記

日 時：平成31年2月8日(金) 19:00～
場 所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演 題：「妊婦の一般診療のポイント」
演 者：山鹿市民医療センター
産婦人科 値賀 さくら 先生
会 費：無料

お問い合わせ先

山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、迎田
TEL：0968-44-2185 (内線608)

※共催：鹿本医師会

がんサロン開催のご案内

日 時：平成31年2月2日(土) 10:00～11:30
場 所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
内 容：茶話会
参加者：がん患者さま及びそのご家族、その他がん医療に対して関心をお持ちの方はどなたでも自由に参加いただけます
参加費：無料
参加申込：お気軽に下記担当者までお尋ねください。

お問い合わせ先

山鹿市民医療センター
地域医療連携室内がん相談支援センター
TEL：0968-44-2185 (代表)
担当 堤(内線737)、福島(内線789)

第61回フリティカルパス研究発表会のご案内

下記により第61回山鹿市民医療センタークリティカルパス研究発表会(公開)を開催いたします。
多数のご参加を歓迎いたします。

記

日時：平成31年2月27日(水) 18:00～
場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演題：「疼痛コントロール」(緩和ケア)
「非常時の食事について」(栄養科)
「地域包括パスについて」(5階病棟)
「がん手術の体位固定」(手術室)
会費：無料

お問い合わせ先

山鹿市民医療センター
看護部 江藤
TEL：0968-44-2185

参加費無料
申込み不要

～肝炎治療で
お悩みの方へ～
「肝炎サロン」を開催します！

- 肝炎サロンは、肝炎患者様やそのご家族など肝炎に関心のある方のための情報交換の場です。
- 肝臓の病気に対する疑問や、治療に関する不安や悩みなど、ゆっくり語り合ってみませんか？

2/1(金):熊本市

時間:午後1時30分～
会場:熊本大学医学部附属病院
山崎記念館(1階研修ホール)
電話:096-372-1371
講師:川崎剛先生

2/8(金):天草

時間:午後1時30分～
会場:天草地域健診センター
(2階会議室)
電話:0969-24-4166
講師:坂井良成先生

2/28(木):八代

時間:午後1時30分～
会場:熊本労災病院
(中央診療棟5階会議室)
電話:0965-33-415
講師:佐々木雅人先生

2/20(水):山鹿

時間:午後1時30分～
会場:山鹿市民医療センター
(医療研修センター)
電話:0968-44-2185
講師:本原利彦先生

3/15(金):阿蘇

時間:午後1時30分～
会場:阿蘇医療センター
(講堂)
電話:0967-34-0311
講師:川崎剛先生

※医師からのお話の他、薬剤部・管理栄養部の先生によるお話や、参加者同士の「語らいの時間」があります。全体で2時間程度の予定です。
(注)会場毎に内容が異なる場合があります。

お問合せ先：熊本県健康危機管理課(096-333-2783) ※平日午前9時～午後5時
県ホームページ(http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_18125.html)

主催：熊本県、熊本県肝炎診療連携拠点病院等連絡協議会

外来担当医表

2月

診療科名	月	火	水	木	金
内科	永野 久俊	—	—	永野 久俊	永野 久俊
緩和ケア内科	—	坂田 典史	—	坂田 典史	坂田 典史(午後)
腫瘍内科外来	—	—	※ 陶山 浩一	—	—
呼吸器内科	—	※ 熊大医師	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
循環器内科	大庭 圭介 久保田 雄二	大庭 圭介 久保田 雄二	久保田 雄二 大庭 圭介	※ 海北 幸一 久保田 雄二/大庭 圭介	大庭 圭介 久保田 雄二
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
消化器内科	本原 利彦	柚留木 秀人	堤 英治	堤 英治 柚留木 秀人	本原 利彦
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰	工藤 智志 松永 英人	手術(担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術(担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術(担当医)	別府 透 吉田 泰	手術(担当医)	別府 透 木下 浩一
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 山崎 浩藏	—	※ 原 千瑛	—
小児科	※ 石井 真美	—	※ 石井 真美 予防接種(午後)	※ 石井 真美	—
セクセン 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	※ 深見 直美	※ 非常勤医師	
	眼科	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴
	産婦人科	植賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 植賀 さくら	福島 泰斗 植賀 さくら	植賀 さくら 福島 泰斗
		※ 片渕美和子(午後) 2/5(火)、12(火)、14(木)、19(火)、26(火)、28(木)			
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)

健診	豊永 政和 柚留木 秀人	豊永 政和 本原 利彦	豊永 政和 柚留木 秀人	豊永 政和 本原 利彦	豊永 政和 柚留木 秀人
----	-----------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

2月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
糖尿病外来	川崎 修二	毎週 木曜(9:00~12:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	2/5(火)、12(火)、14(木)、19(火)、26(火)、28(木)	
P E G 外来	担当医	毎週 水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第3・第4日曜日(10:00~12:00) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>